

第3回川越市市内循環バス検討委員会 会議要旨

1 開催日時 平成28年1月28日(木) 午前10時00分～12時00分

2 開催場所 川越市南公民館 講座室1号・2号

3 出席者

久保田尚委員長、鈴木良枝副委員長、関根一委員、吉田敏之委員、原伸次委員、山口日出美委員、鈴木哲哉委員、原口一郎委員、堀米康史委員、宮崎信二委員、秋山英夫委員、矢部竹雄委員、小谷野雅夫委員、高荷英利委員、熊本勝美委員、工藤憲一委員、渡辺義政委員（合計17名）

4 欠席者

大久保雄二委員、大岡敦委員、庭山芳樹委員（3名）

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴人 4名

1 開会

2 あいさつ

本日は、前回いくつか出ていた論点の中から、介護者料金と目標の数値化の2点を議論していきたい。

3 議事

(1) 介護者料金の見直しについて

資料1～4に沿って、事務局から説明が行われた。なお、質問や意見は以下のとおり。

（事務局）

本日欠席委員から意見を預かっているため、朗読したいが、いかがか。

（議長）

事務局から発言があったが、いかがか。

[異議無し]

（事務局：代読（要旨））

平成27年度を始期とする川越市障害者支援計画では、外出や移動支援を掲げ、その充実に努めることなどが規定されている。また、国連総会において採択された障害者権利条約第20条、本年4月に施行される障害者差別解消法なども踏まえ、介護者料金を無料にすべきと考えている。

（議長）

欠席委員による意見が代読されたが、他に意見はあるか。

(委員)

障害者への支援の1つとして、目の不自由な方が移動することに支援事業を行っている。白杖や盲導犬を利用する人が高齢化しており、バスや電車に乗るに当たり介護が必要、という事で派遣している。介護をしてくれる人はボランティア的な存在であり、その方が交通費を負担しているのが現状である。今回提案の介護者料金の見直しは非常に大事だと考える。是非お願いしたい。

(委員)

原則賛成だが、「介護者1人」とあるが、2、3名必要な場合もあると思うし、逆に、1人限定としないことによる問題もあると思う。1人とした理由は。

(議長)

理由に加え、実態についても教えていただきたい。

(委員)

高齢者の場合もそうだが、車いすの場合や、重い障害の場合は2名という事もある。すべて(障害者と介護者が)1対1というわけではない。

(事務局)

資料3を見ていただくと、「1人」または「原則1人」としているところが一般的だが、今現在、シャトルの運用の中で1人としているため、1人につき無料と考えている。介護保険制度の中でも、移動支援は1人となっていたと思う。

(委員)

現状は理解したが、現実には2名必要となった場合、1人と割り切るのもいいが、何か良い方法がないか検討しておいた方がよいのではないか。

(委員)

同じ意見だ。資料3には「原則1人」としているところもある。介護する人も高齢化してきており1人では無理だという状況にもなると思う。「原則1人」とするか「距離に応じて1人もしくは2人」としてはどうか。

(委員)

当面は1人で運行してみて、実態的に2人という場合が多いようであれば、検討委員会で検討し、変えればよいのではないか。

(委員)

「原則1人」であれば、それも読み取れると思う。

(事務局)

シャトルバスに車いすの方が乗降する際は、乗務員が手伝っている。介護者1人では難しい場合も手伝えると思う。人数については、今現在の「1人」のままとし、料金だけの変更としたい。将来必要であれば、複数にするという事ではどうか。

(委員)

障害者本人の無料は、発足当時からか。介護者を無料とする発想があるのであれば施行まで待たず、すぐにやってもよかったのではないか。

(事務局)

平成8年の運行開始から障害者本人は無料である。法の施行を待たずにすぐという意見は、確かにそのとおりであるが、委員会に諮るのが一番良いと判断し、昨年8月から始まった当委員会でお諮りした。

(委員)

東武バスでは「原則1人」としているが、他のバス会社では、「1人」を「原則1人」に4月から変更する予定はあるか。

(委員)

現在のところ、社内では検討していない。今までどおり「1人」で対応したいと考えている。今後検討していきたい。

(議長)

では、大きな反対意見はないようなので、「原則1人」ではなく「1人」でよいか。

(委員)

「原則1人」とすることに意味があると思う。

(議長)

前回からの引続きの議題なので決を取りたいと思う。「4月1日から介護者1人を無料とする」という変更案に賛成の方は挙手願う。

[挙手多数]

(議長)

賛成多数のため、事務局案のとおり決定する。

委員会は、すべてが終わってから市へ答申すると思うが、それでは4月1日間に合わないが、手続はどうするのか。

(事務局)

本日、委員会の結論をいただいたので、法の施行に合わせて答申の形を取らず、4月1日からの実施に向けて事務を進めたいと考えている。市民の代表である市議会議員への報告、ホームページや広報での周知、バス事業者への通知等、漏れのないようにしていきたい。

(議長)

事務局の説明どおりでよいか。

[異議無し]

(2) 検討課題における目標の数値化について

資料5～12に沿って、事務局から説明が行われた。なお、質問や意見は以下のとおり。

(議長)

まず、指標についてはどうか。

(委員)

指標としてはこれで良いと思う。収支率の改善が必要な路線が出た場合、路線ごとに収支が出せないという事では、ぼやけてしまう。「距離で区分」「時間で区分」等、完全な数値でなくてよいので、路線ごとの収支が出せるよう工夫していただきたい。

(委員)

なぜ路線ごとに出せないのかをバス会社に聞きたい。

(事務局)

例えば、1台で3系統を担っているバスでは、料金箱が1つで、3路線分の料金が合わさるので厳密な金額が出せないと聞いている。距離という事であれば、3系統の距離按分という事であれば出せる。これも一つの方法である。バス事業者の意見をもらい、可能なもの、あるいは近いものを出していきたい。

(委員)

OD調査をやっているので料金はわかる。年間の数値は出なくても、推計はできるはずである。しっかり押さえて欲しい。また、1日の延べ人数は把握しておかなければならない。

(事務局)

特別乗車証により無料で利用している方がいるため、その点も考慮して検討したい。

(委員)

何人無料にしたかも書いてあるので、分かるはずだ。

(事務局)

OD調査の個票等を確認し、対応できるようにしたい。

(議長)

路線ごとには分からないため全体でという事務局の案に対し、推計で出せるのではないかという意見だ。

(委員)

指標として用いるのに反対はない。できるだけ正確な数値が出せるよう努力して欲しい。

(議長)

事務局案のとおりで良いということか。

(委員)

そうだ。

(議長)

指標はこの2つで良いか。

[異議無し]

(議長)

では、指標はこの2つを用いることとする。〇〇の中身、データの作り方等は今後の検討とする。

(議長)

「指標との関連」「優先順位」はどうか。

(委員)

提案どおりでよい。

(議長)

よろしいか。

[異議無し]

(議長)

「指標の活用」についてはどうか。本日はイメージということで、議論はするが結論は次回となる。A B C Dとランク付けし、Cなら改善、Dなら廃止、といったイメージという事だが。

(委員)

Dは「廃止が望ましい」とあるが、廃止前提のニュアンスを受けた。川越シャトルは交通弱者のための交通であり、単に数字が低いからと言って廃止を検討というわけにはいかないのではないか。例えば、免許返納率といった、字ごとの特徴を勘案しながら、「廃止も含めて総合的に検討を要する路線」といった表現で、いろいろな考え方ができるようにした方が良いのではないか。

(事務局)

ご指摘のとおりである。民間の路線バスとは違い、市が行っている事業である。収支だけがすべてではない。市民が「いきなり廃止なのか」と連想しないよう、表現を変えるよう検討する。

(委員)

路線ごとに障害者が乗った人数がわからないと議論ができない。

(事務局)

OD調査の個票に記載されていると思われるので、調べることは可能と考える。

(委員)

「Dランクだが、障害者の利用が多いので存続させたほうがよいのではないか」といった検討が可能になる。路線ごとに見えてくるように、是非お願いしたい。

(議長)

コミュニティバスの本質的な部分を議論いただいたと思う。今の議論を踏まえ、次回、案を出して欲しい。

「指標の具体的な数値」については、10人、30%と具体的な数値が出ているが、どうか。

(委員)

収支目標値の数字は問題ない。ただし、人数のランク付けとなると、Aランクは、今でいう10人以上の路線であり、5路線ぐらいしかなく、CDランクばかりになってしまう。それを踏まえランク付けの定義を変えるか、目標を落とす等

しないと達成できないと危惧する。

(委員)

収支率30%はきりがよく、分かりやすいが、ここ5年間の平均は21.04%であり、5年の推移からすると30%はハードルが高いと思われる。頑張れば手が届くところに設定しないと厳しいのではないか。人数についても、どういう増減があるかはわからないが、高いのではないか。再考した方が良い。

(委員)

収支には、民間バスがやっているラッピングバスのようなものをやれば、広告収入になり、初期投資も変わり、収支率も変わるのではないか。概算の初期投資、収入は算出しているのか。

(事務局)

実際には、車両の大きさにもよるし、あの色、あのデザインがシャトルバスだとラッピングに反対の意見もあると思う。今現在お示しできるものはない。

(委員)

では、広告収入は車内吊りを考えていたという事か。

(事務局)

そのとおりだ。

(委員)

広告収入を考えることは大事だ、勉強しておいて欲しい。車内吊りも計算して欲しい。市でやるのか、広告業者を入れるのかで、料金は全然変わるはずだ。

埼玉県の30市の収支はどうなっているのか、比べることができれば分かりやすい。収支については、他市は出したがらないかもしれないが、分かる範囲で是非お願いしたい。

(事務局)

次回、他市の数値を出させてもらう。

(事務局)

数値が高すぎるという指摘については、平成26年度の24.0%、これは見直し後、初めての1年間のデータであり、これを重視した。他市を見てみると20、30、40とあり、「目標として低すぎる」という意見を恐れたのが本音である。意見を受けて、再度検討していきたい。

(議長)

次回の議論で間に合うのか。

(事務局)

間に合う。

(議長)

では、継続審議としたい。他市のデータを参照して議論したい。

(委員)

次回検討委員会はいつか。3月なら、直近の2月までのデータがあれば参考になる。

(事務局)

3月29日(火)を予定している。月ごとのデータを出すのは難しい。また、他市からのデータも平成26年度のものが最新となっているので、平成26年度データで検討したい。

(委員)

4月から1月までの10ヶ月分のデータは出せないのか。

(議長)

出たとしても、季節変動分があり、他の年度と比較するのは難しい。平成26年までのデータで議論するしかないと思う。

「対象期間」はどうか。

(委員)

来年は消費税が上がる。運賃を変える予定はあるのか。それにより収支率が変わるし、対象期間にもズレが出るかもしれない。考慮しておいて欲しい。

(議長)

消費税の考慮も必要だ。

期間は5年でよいか。

[異議無し]

(委員)

5年とする。

本日は、決めたものもあるが、継続審議のものについては、また、次回よろしく願います。

(3) その他

資料5～12に沿って事務局より、現在検討中の川越市都市・地域総合交通戦略について、検討状況の報告を行った。

(事務局)

川越市都市・地域総合交通戦略は、10年後を想定しているが、可能であれば前倒しして、交通をこのようにしたいと考えている。バスが駅に向かって運び、駅から電車で川越の中心へ、あるいは都心へ移動してもらおう。バス、鉄道を使ってもらうことで、維持される、あるいは、もっと利用しやすくなる事を目指している。

(委員)

私は1回目の委員会を欠席したが、1回目の会議録が届き、2回目の委員会でも助かった。2回目の会議録も郵送して欲しい。

(委員)

ホームページ上に公開されており、自分でダウンロードは可能だ。

(事務局)

郵送させていただく。

(委員)

本日議論のあった「介護者1人とするが、将来必要になったら変更することも検討する」いったことも記録しておいて欲しい。

委員会で配布された資料は、マル秘扱いのものなのか。外部に出してもよいものなのか。もし、マル秘であればハンコを押してもらうか、あらかじめ言ってもらって、遺漏のないようにしたい。

(事務局)

委員から外部に漏れてはいけないものについては、マル秘扱いとさせてもらう。

(委員)

資料については、この会議が公開であっても、委員として、個人で責任を持つべきだ。外に資料を出すこと自体おかしい。

(委員)

差し替えた書類を処分してくれと言われたが、これだけの量をシュレッダーするのは大変なため、破く位で済めばと思い質問させてもらった。

(事務局)

差し替えの際に、間違いのないようにという意味で処分とした。再度、資料については細心の注意を払う。

(委員)

本日は素晴らしい議論ができた。事務局もこれだけの資料を作成し大変だったと思う。公募委員のみなさんも、ご自分で研究されており、一緒に議論できて頼もしく思う。これであれば30%も夢ではないのかなと思った。事務局がいろいろ考えていることもわかった。皆さんに伝えたいのは、素人でもアイデアは出せる、突拍子もない事と思わず、アイデアを一つでもお持ちになられてはどうか。みなさん、十人十色、素晴らしい意見をお持ちと思う。勉強不足と思うこともあるかもしれないが、シャトルの運行に希望を持っているのはみんな同じ、レベルアップを望んで、30%と笑われないように、力を合わせて頑張りましょう。

(議長)

力強い言葉をいただいた。
次回の日程についてはどうか。

(委員)

今回は3月29日(火)の午前中を予定している。会場については調整中のため、決まり次第、案内する。

(議長)

以上で、予定された議事はすべて終了した。円滑な審議にご協力いただき、感謝申し上げます。進行を事務局にお返ししたい。

4 閉会